

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	湘南のひかり輝く海・まちを未来へつなぐ下水道													
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	藤沢市													
計画の目標	藤沢市公共下水道事業は5つの目標に向け、事業を推進いたします。 安全・安心なまちづくりへの貢献 湘南の自然環境との共生 地域から取り組む地球環境保全 快適で潤いあるまちづくりへの貢献 自然・ひと・まちが共生する都市を次世代につなぐ													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		1,412	A	1,412	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	R2末
1	下水道処理人口普及率を95.2%(H28)から95.4%(R2)に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/行政人口(人)	95%	95%	95%
2	北部区画整理事業区域における雨水管渠の整備率を57.7%(H28)から66.1%(R2)に増加させる。 北部区画整理事業区域内における雨水管渠の整備率 雨水管渠整備延長(km)/計画延長(km)	58%	63%	66%
3	効率的汚水処理施設整備(アクションプラン)計画策定率を0.0%(H28)から100.0%(R2)に増加させる。 効率的汚水処理施設整備(アクションプラン)計画策定率 策定済計画数(件)/計画策定必要数(件)	0%	100%	100%
4	南部処理区処理場における自家発電設備整備率を50.0%(H28)から100.0%(R2)に増加させる。 南部処理区処理場自家発電設備整備率 整備済み台数(台)/計画台数(台)	50%	100%	100%
5	南部処理区ポンプ場におけるポンプ設備整備率を94.4%(H28)から100.0%(R2)に増加させる。 南部処理区ポンプ場ポンプ設備整備率 整備済み台数(台)/計画台数(台)	94%	100%	100%
6	南部処理区処理場における用水設備原水ポンプ設備整備率を0%(R2)から100.0%(R2)に増加させる。 南部処理区処理場用水設備原水ポンプ設備整備率 整備済み台数(台)/計画台数(台)	0%	0%	100%

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	藤沢市	直接	-	管渠(雨水)	新設	湘南台西地区管渠整備(雨水)	300~1800 L=1.2km	藤沢市						145	-	
	A07-002	下水道	一般	藤沢市	直接	-	管渠(污水)	新設	湘南台西地区管渠整備(污水)	200~350 L=1.7km	藤沢市							282	-
	A07-003	下水道	一般	藤沢市	直接	-	管渠(污水)	新設	相模川流域処理区管渠整備(污水)	200 L=2.5km	藤沢市							281	-
	A07-004	下水道	一般	藤沢市	直接	-	管渠(污水)	新設	効率的汚水処理整備計画策定	アクションプランの策定	藤沢市							4	-
	A07-005	下水道	一般	藤沢市	直接	-	終末処理場	新設	辻堂浄化センター	自家発電設備整備、用水設備整備	藤沢市							480	-
	A07-006	下水道	一般	藤沢市	直接	-	ポンプ場	新設	南部処理区ポンプ場	ポンプ設備整備	藤沢市							204	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	藤沢市	直接	-	管渠(雨水)	新設	円行地区管渠整備(雨水)	1350~1500 L=0.46km	藤沢市						16		-
											小計						1,412		
											合計						1,412		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
令和4年3月3日に社会資本総合整備計画事後評価委員会を開催し、学識経験者を含む第三者から事後評価についての意見を聴取した。	令和4年3月
	公表の方法
	ホームページにて、事後評価書及び説明版資料を公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・未普及地域において污水管渠の整備を行ったことにより、単独浄化槽での処理から処理場での処理に変わり、公衆衛生が向上し、公共用水域の水質が改善した。 ・北部区画整理事業区域において雨水管渠の整備を行ったことにより、浸水被害の軽減が図られた。 ・南部処理区処理場における自家発電設備の整備により、非常時におけるさらなる電源の確保ができるようになった。 ・南部処理区ポンプ場におけるポンプ設備の整備により、効率的な運転が可能となった。 ・南部処理区処理場における用水設備原水ポンプ設備の整備により、汚泥処理設備で使用する用水のバックアップが確保できるようになった。 ・円行第二排水区における雨水管渠に係る詳細設計を実施したことにより、この設計に基づく整備工事を実施することで、その効果を発現することが可能となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・南部処理区処理場における用水設備原水ポンプ設備の整備により、より適切な運転・維持管理が可能となった。
特記事項（今後の方針等）	
他事業の進捗に合わせて進めていく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	下水道処理人口普及率		
	最終目標値	95%	効率的に事業執行したことから、最終目標値を上回った。
	最終実績値	96%	
2	北部区画整理事業区域内における雨水管渠の整備率		
	最終目標値	66%	整備を予定していた都市計画道及び接続する区画街路部分において、埋蔵文化財本格調査が必要となり、工事着手ができなかったため、最終目標値に至らなかった。
	最終実績値	65%	
3	効率的汚水処理施設整備(アクションプラン)計画策定率		
	最終目標値	100%	アクションプラン策定対象が概成していない都市と示され、策定対象外となったため。
	最終実績値	0%	
4	南部処理区処理場自家発電設備整備率		
	最終目標値	100%	適切に事業を執行したことから、最終目標値に達した。
	最終実績値	100%	
5	南部処理区ポンプ場ポンプ設備整備率		
	最終目標値	100%	適切に事業を執行したことから、最終目標値に達した。
	最終実績値	100%	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
6	南部処理区処理場用水設備原水ポンプ設備整備率	
	最終目標値	100%
7	最終実績値	100%
	適切に事業を執行したことから、最終目標値に達した。	
	円行第二排水区雨水管渠に係る詳細設計の実施	
	最終目標値	1箇所
	最終実績値	1箇所
	適切に事業を執行したことから、最終目標値に達した。	